



なかじま

重点教育目標(めざす学校像)「よりよく考え、確かな自信をもつ子どもの育成」

函館市立中島小学校
学校通信 NO.11
令和8年1月30日

共に学び、共に育つ、新たな学びの形への挑戦！

校長 目黒 範和

三学期がスタートして半月が経過しました。新たな目標に胸を膨らませ、笑顔で登校する子どもたちの姿に、校舎が再び活気を取り戻したことを嬉しく感じています。今学期も教職員が一丸となり、子どもたちの健やかな成長に向けて全力を尽くしてまいります。

～「中島小の全教職員」で、全児童を支える～

三学期は、一年の締めくくりであると同時に、次なるステップへの準備期間でもあります。始業式では子どもたちに、「進学・進級に向けて、憧れとなる先輩の姿を見つけよう」「学年を超えて多くの人と関わり、視野を広げよう」と伝えました。これを受け本校では、学年をまたいだ交流や、教員の専門性を生かした教科指導を更に充実させていきます。「中島小の教職員全員が、全ての子どもたちの担任である」という意識で、一人ひとりの可能性を引き出してまいります。



～研修で感じた「学びの転換点」～

私はこの冬休み、函館市立学校の管理職研修に参加してまいりました。そこで非常に印象的だったのは、講師の方の「この研修の進め方自体が、これからの中学生たちの学びの形そのものです」という言葉でした。従来の講義形式とは異なり、研修時間のほとんどが参加者同士の「対話」に費やされました。当初は戸惑いもありましたが、仲間と語り合う中で、自分に足りない視点や、今後身に付けるべき能力を主体的に再発見することができました。この経験から、子どもたちの学びも大きな転換点にあると改めて実感しました。これからは、知識を得るだけでなく、「対話を通じて自ら課題を見つけ、更新し続ける力」が求められています。

～未来を生き抜く力を、地域と共に～

小学校教育においてこれまで大切にしてきた「学び方を学ぶ」「諦めずにやり抜く」といった非認知能力の育成は、今後も変わらず重要です。私たちはその土台を大切にしながら、予測困難な時代をたくましく生き抜くための資質・能力を、確実に見極めて育んでいきたいと考えています。子どもたちが未来へ向かって大きく飛躍できるよう、学校・家庭・地域が手を取り合い、一丸となって支えてまいりましょう。今学期も変わらぬ御支援と御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2月の主な行事予定

- 3日（火）全校朝会、委員会活動
- 6日（金）新1年生入学説明会・体験入学
- 17日（火）学習参観・懇談会
- 24日（火）教育相談週間～27日
- 25日（水）6年生を送る会



冬本番です！帽子・手袋の着用や温かい肌着の着用などの寒さ対策をよろしくお願いします。

中島小の全教職員で全児童を支える『進級プログラム』は中島小 HP「特色ある教育」で紹介しております。